

いろいろな場面で使える農家の常備薬!

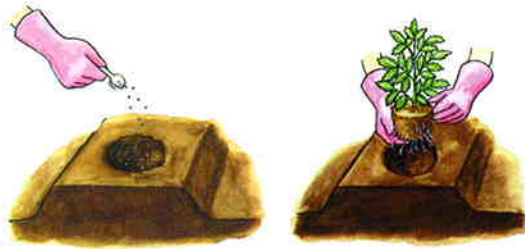
育苗期後半に株元処理

- キャベツ ●レタス ●きゅうり
- ピーマン ●なす ●トマト ●ミニトマト など



定植時に植穴処理土壌混和

- キャベツ ●きゅうり ●すいか ●いちご
- ピーマン ●なす ●トマト ●ミニトマト など



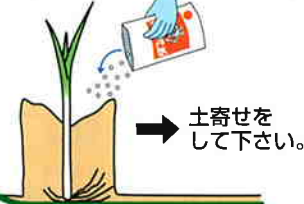
鉢上時に株元処理

- トマト ●ミニトマト



生育期に株元散布

- 露地栽培の ●ねぎ ●わけぎ
- あさつき など



は種時に

- キャベツ
- だいこん
- ブロッコリー など

植付時に

- ばれいしょ ●かんしょ
- ねぎ(露地栽培)など



アブラムシ類



コナジラミ類



マメハモグリバエ



ミナミキロアザミウマ



トマトハモグリバエ

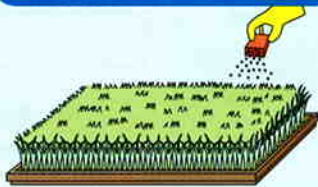


ネキリムシ



ハイマダラノメイガ

育苗箱処理



水稲

本田散布

動力散粒機など



イネミスゾウムシ



イネドロオウムシ



ウンカ類



カメムシ類



ツマグロヨコバイ

生育期株元処理

- きくら
- カーネーション



アブラムシ類

アザミウマ類(さく)

株元散布

- かんきつ(苗圃)



ミカンハモグリガ

いろいろな作物に使える!!

新 ネオニコチノイド系 殺虫剤

ダントツ粒剤



水稲、野菜、花、 かんきつ(苗圃)の 害虫防除に!

新 ネオニコチノイド系 殺虫剤 ダントツ® 粒剤

■ 適用と使用方法

■ クロチアジン 0.50% ■ 人畜毒性:普通物 ■ 魚毒性:A類(原体)

平成22年1月20日現在の登録内容です

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
稲	ウンカ類 ツマグロヨコバイ、ニカメイチュウ	3kg/10a	収穫 7日前まで	3回以内	散布
	カメムシ類	3~4kg/10a			
稲 (箱育苗)	イネミスウムシ イネドロオウムシ イネヒメハモグリバエ	育苗箱(30×60×3cm、 使用土量約5L)1箱当り50g	移植3日前~ 移植当日	1回	育苗箱の苗の 上から均一に散布
きゅうり	アブラムシ類 ミナミキイロアザミウマ	1g/株	育苗期後半	いずれかの 処理で1回	株元処理
	コナジラミ類	1~2g/株	定植時		植穴処理 土壌混和
	アブラムシ類				2g/株
	アブラムシ類	1~2g/株	定植後 但し、収穫前日まで		3回以内
すいか	アブラムシ類 ミナミキイロアザミウマ	1~2g/株	定植時	1回	植穴処理 土壌混和
	アブラムシ類、コナジラミ類	1g/株	育苗期後半		株元処理
メロン	コナジラミ類	1~2g/株	定植時	いずれかの 処理で1回	植穴処理 土壌混和
	アブラムシ類				2g/株
	ミナミキイロアザミウマ トマトハモグリバエ	2g/株	定植後 但し、収穫前日まで	3回以内	株元散布
	アブラムシ類	1~2g/株			
なす	アブラムシ類 コナジラミ類	1g/株	育苗期後半	いずれかの 処理で1回	株元処理
	マメハモグリバエ	1~2g/株	定植時		植穴処理 土壌混和
	アブラムシ類		定植後 但し、収穫前日まで		3回以内
トマト ミニトマト	アブラムシ類 コナジラミ類	1g/株	育苗期	いずれかの 処理で1回	株元処理
	マメハモグリバエ	1~2g/株	定植時		植穴処理 土壌混和
	トマトハモグリバエ		2g/株		
	アブラムシ類	1~2g/株	定植後 但し、収穫前日まで		3回以内
ピーマン	アブラムシ類	1g/株	育苗期後半	いずれかの 処理で1回	株元処理
		1~2g/株	定植時		植穴処理 土壌混和
		3~6kg/10a	は種時		1回
いちご かぼちゃ だいこん レタス 非結球レタス	アブラムシ類	0.5g/株	育苗期後半		株元処理
ブロッコリー	アブラムシ類 ハイマダラノメイガ	0.25g/株	は種時	いずれかの 処理で1回	覆土後セル成型育苗 トレイまたはペーパー ポットの上から散布
	アブラムシ類 コナガ アオムシ ハイマダラノメイガ	0.5g/株	育苗期後半		株元散布
	アブラムシ類	1g/株	定植時		植穴処理 土壌混和
	コナガ アオムシ ハイマダラノメイガ	2g/株			
キャベツ	アブラムシ類 ハイマダラノメイガ	0.25g/株	は種時	いずれかの 処理で1回	覆土後セル成型育苗 トレイまたはペーパー ポットの上から散布
	ネキリムシ類 コナガ、アオムシ ネギアザミウマ ハイマダラノメイガ	0.5g/株	育苗期後半		株元処理
	アブラムシ類	1g/株	定植時		植穴処理 土壌混和
	ハイマダラノメイガ コナガ、アオムシ	1~2g/株			
セルリー	アブラムシ類	2g/株	植付時	1回	植溝処理
	アブラムシ類	6kg/10a			
ねぎ(露地栽培)	ネギアザミウマ	6kg/10a	植付時		植溝処理
あざつき(露地栽培) わけぎ(露地栽培)	ネギハモグリバエ	3~6kg/10a	収穫 21日前まで	2回以内	株元散布
らっきょう	ネギアザミウマ	6kg/10a			
さとうきび	ハリガネムシ類	4~6kg/10a	植付時	1回	植溝処理 土壌混和
ばれいしょ	アブラムシ類	6kg/10a		1回	植溝処理 土壌混和
かんしょ	コガネムシ類	6~9kg/10a	植付前~植付時	いずれかの 処理で1回	作業処理 土壌混和
	アブラムシ類	6kg/10a	育苗期		株元処理
れんこん	クワイクビレアブラムシ	4~6kg/10a	収穫 7日前まで	3回以内	灌水散布
だいず	アブラムシ類	6kg/10a	は種時	1回	播溝処理 土壌混和
かんきつ(苗圃)	ミカンハモグリガ	10~20g/樹	育苗期	3回以内	株元散布
ばら	アブラムシ類	1~2g/株	発生初期	4回以内	生育期 株元散布
	ミカンキイロアザミウマ	6kg/10a			
	アブラムシ類	2g/株			
きく	アブラムシ類	6kg/10a	発生初期	4回以内	生育期 株元散布
	アブラムシ類	1g/株			
	マメハモグリバエ アザミウマ類	2g/株			
カーネーション	アブラムシ類	1g/株	発生初期	4回以内	生育期 株元散布
	アブラムシ類	6kg/10a			
げっしつ	ミカンキジラミ	30~40g/株			



① 新しい作用性!

新しいタイプのネオニコチノイド系殺虫剤です。従来の有機リン、カーバメイト、合成ピレスロイド剤に感受性が低下した害虫にも安定した高い効果を示します。

② 効果が長く持続します!

低濃度で高い活性を示し、長期間効果が持続します。

③ 幅広い殺虫スペクトラム!

水田害虫から野菜、花、かんきつ(苗圃)などの重要害虫まで幅広く効きます。また、キャベツのネギアザミウマに適用拡大されました。

④ 安心して使える普通物!

人畜、魚介類および有用天敵であるクモ類に対する影響が少なく、環境に対しても優しい薬剤です。

⚠ 使用上の注意

- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにして下さい。
- ミツバチに対して影響があるので、ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにして下さい。
- マルハナバチを利用する場合、本剤使用後20日目頃より後に導入して下さい。但し、影響日数は環境条件により多少変動する場合がありますので注意して下さい。
- 水稲の本田(3cm前後の灌水とする)及びれんこんに使用する場合は、田面に均一に散布し散布後4~5日間は灌水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないで下さい。
- キャベツに使用する場合は、薬害が生じるおそれがあるので使用量を厳守して下さい。
- キャベツのは種時に使用する場合は、薬害が生じる場合がありますので覆土後に使用し、覆土前の使用はさけて下さい。
- 薬剤を株単位で使用する場合には、10a当り25kgを越えないように適用の範囲内で単回使用量を調整して下さい。
- かんきつに使用する場合は、今期に収穫の見込みのない苗木に使用し、散布後軽く散水して下さい。
- ラベルに記載の注意事項もご覧下さい。

● 農薬は正しく使しましょう! ● 使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ● ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ● 小児の手の届く所には置かないで下さい。

2010年1月末作成 全新企画社 003

かんしょコガネムシ類に 待ち伏せ防除!!

ネオニコチノイド系 殺虫剤

高品質な
かんしょ
作りに!!

ダントツ[®] 粒剤



● 低薬量で高い効果!!



ドウガネブイブイ
(幼虫)



ドウガネブイブイ
(成虫)



かんしょ被害

● 植付け時処理で長い残効!!

● 畦立マルチ同時土壌混和处理で省力的!!

畦立マルチ+施肥+ダントツ粒剤
(2畦同時処理)

希釈水不要で
さらに省力化!!

ここにダントツを入れます



かんしょ以外にも稲・野菜・花き類など多数の作物に登録。



高品質な かんしょ作りに!

ネオニコチノイド系 殺虫剤

ダントツ® 粒剤

■クロチアニジン 0.50% ■人畜毒性:普通物 ■魚毒性:A類(原体)

適用と使用方法

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
かんしょ	コガネムシ類	6kg/10a	植付前～植付時	1回	作条処理土壌混和
	アブラムシ類		育苗期		株元処理

※ダントツ粒剤はかんしょの他に、稲、野菜、花、かんきつ(苗圃)の幅広い用途にも使えます。



ダントツ粒剤はコガネムシ類(幼虫)に低薬量で効果を発揮し、残効性に優れた特長を持っています。
本剤を畦立てマルチ被覆時に作条土壌混和处理(待ち伏せ)することで、省力的に畦内に侵入してくる1齢幼虫を防除し、長期間被害を抑制します。

試験成績

ダントツはドウガネブイブイ1齢幼虫に対して**低薬量で十分な効果**を発揮!!

◆ドウガネブイブイ1齢幼虫の半数致死薬量

2007年 住友化学(株) 農業化学品研究所

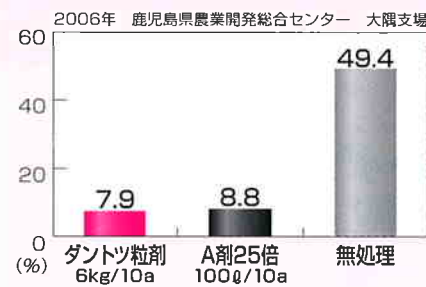
	ダントツ (原体)	A (原体)
半数致死薬量 (mg ai/kg土壌)	0.007	0.167

約24倍の薬量差!!

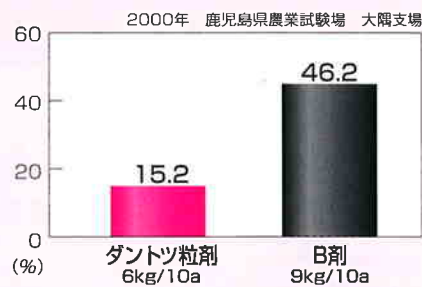
供試虫:ドウガネブイブイ1齢幼虫
処 理:所定濃度に希釈した薬液を、供試土壌によく攪拌し、プラスチックカップ(容量600ml)に300gづつ入れ、各カップに供試虫8頭ずつを放飼して半数致死薬量を計測

春先の植付け時処理で、10月掘り取り時まで**高い効果!!**

◆かんしょコガネムシ類の被害いも率



品 種:コガネセンガン 調査:10月23日
対象害虫:コガネムシ類、掘り取り各区中央4畦から5株合計20株の中発生
作条処理土壌混和:5月22日 塊根について被害程度



品 種:ペニオトメ 調査:10月16日に各区の中央2畦について各10株ずつ計20株を掘り取り、調査
対象害虫:ヒメコガネとアオドウガネの混発、多発生
作条処理土壌混和:6月6日

⚠ 使用上の注意



- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにして下さい。
- ミツバチに対して影響があるので、ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにして下さい。
- マルハナバチを利用する場合、本剤使用後20日目頃より後に導入して下さい。但し、影響日数は環境条件により多少変動する場合がありますので注意して下さい。
- 水稲の本田(3cm前後の湛水とする)及びれんこんに使用する場合は、田面に均一に散布し散布後4～5日間は湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないで下さい。

- キャベツに使用する場合は、薬害が生じるおそれがあるので使用量を厳守して下さい。
- キャベツのは種時に使用する場合は、薬害が生じる場合があるので覆土後に使用し、覆土前の使用はさけて下さい。
- 薬剤を株単位で使用する場合には、10a当り25kgを越えないように適用の範囲内で単回使用量を調整して下さい。
- かんきつに使用する場合は、今期に収穫の見込みのない苗木に使用し、散布後軽く散水して下さい。
- ラベルに記載の注意事項もご覧ください。

●農業は正しく使いましょう! ●使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ●小児の手の届く所には置かないで下さい。

2009年3月作成 全新企画社 008

